

# CASBEE®広島

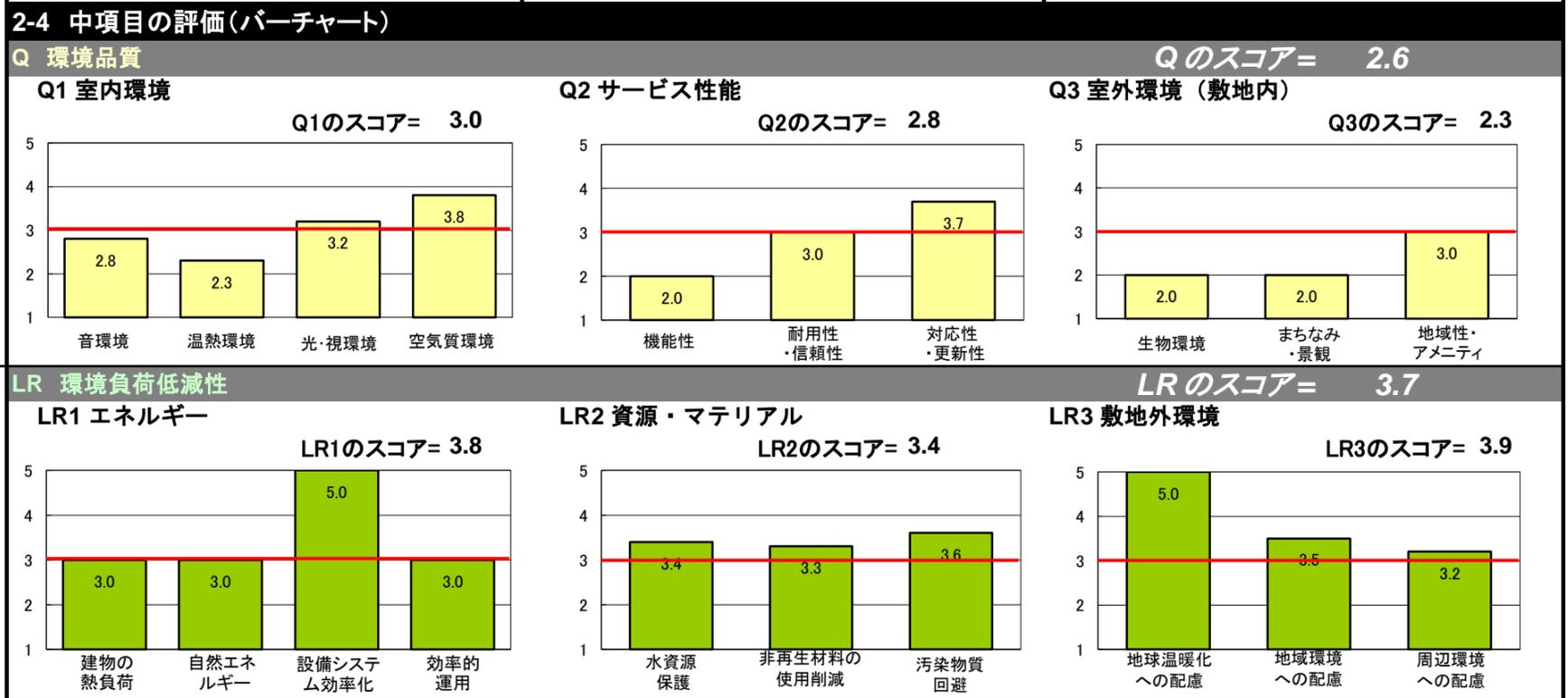
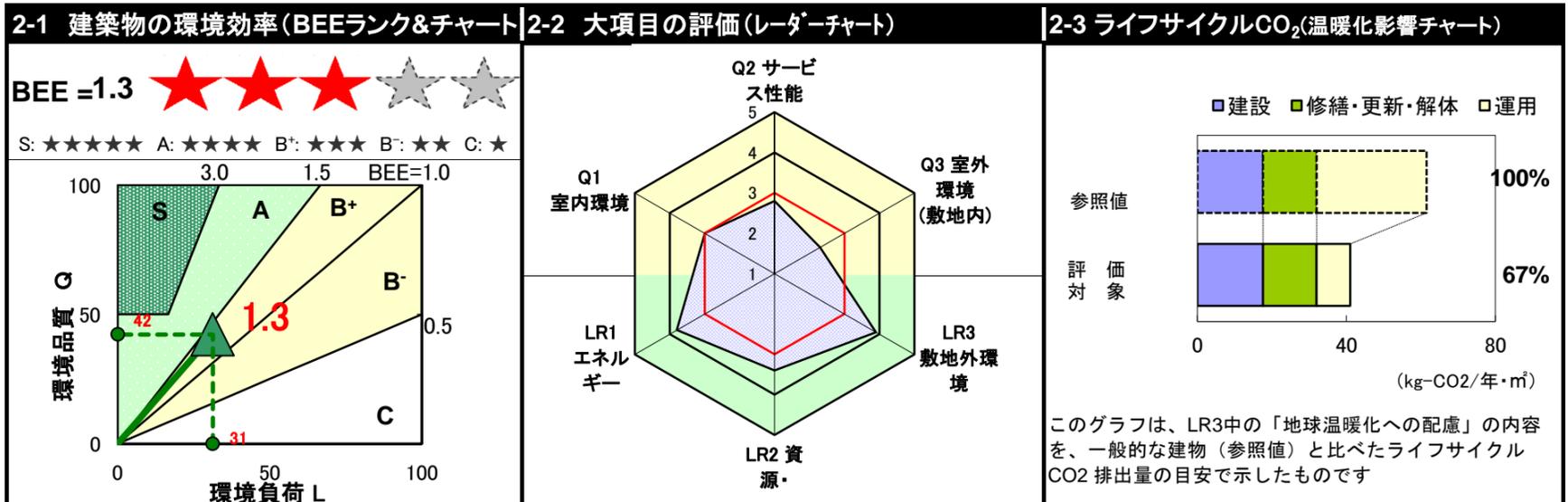
(2010年ver.1)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	双葉工業株式会社可部工場(仮称)	階数	地上2F
建設地	広島市安佐北区深川	構造	S造
用途地域	準工業地域、指定なし	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年5月 予定	評価の実施日	2013年9月18日
敷地面積	7,161 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社フジタ
建築面積	4,064 m <sup>2</sup>	確認日	2013年9月18日
延床面積	4,340 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社フジタ

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.8	スコア = 2.5	スコア = 3.2
<p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>断熱材、ALCを採用し、外皮性能を上げている。/ハイサイドサッシの設置やカーテンウォールの採用で自然採光を取り入れている。/高効率機器の採用による設備システムの効率化によりエネルギー量の低減に配慮している。/運用管理体制については、特に提案は行っていない。/省資源への貢献として、水資源(節水型衛生機器の使用)、建材再利用性(解体時の資材分別容易性)に配慮している。また非構造材料におけるリサイクル材を使用している。/設備機器に高効率機器を採用し、LCCO<sub>2</sub>排出量を削減している。</p>	<p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>自生種を中心とした緑化づくりを行い、緑地面積を十分にとることで、温熱環境の向上に努めている。/建物利用者のための適切な量の自転車置場、駐車スペースを確保している。</p>	<p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>適切な耐震性を有しており、また各種材料の更新必要期間について配慮しサービス性能の向上に努めている。/点検口、ケーブルラック、OAフロアにより仕上材を痛めずに更新・修繕可能としている等、設備関連に対して適切な更新性に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される